

【4 総合的な推進のための支援・連携体制の構築】

～「ちば文化」を支えるひとを育て、つなぐために～

ひとづくり、ネットワークや支援体制の構築、文化施設の機能充実などの文化芸術を支える基盤が安定することにより、安定した文化芸術活動を行うことができ、それにより文化資源を活用し、地域活性化を図ることができます。

文化の多様化に伴い、多様な支援体制の構築、関係団体や国・市町村などとの一層の連携、さらに観光・産業等の幅広い分野との連携が必要であることから、総合的な体制を整えていきます。

また、文化振興のための体制の整備として、文化発信拠点となる文化施設の機能充実と連携強化を図ります。

<施策の展開と主な取組>

⑬「ちば文化」を担うひとづくりの推進

地域の文化芸術活動を活性化するため、文化芸術活動を企画、運営していく人材を育成します。また、文化芸術団体や郷土芸能の保存団体と連携して、今後の活動を担う人材の育成を図ります。

また、新たな「ちば文化」の創造に向け、文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体の功績をたたえ、表彰することは、文化芸術の振興を図るうえで重要です。

このため、文化芸術活動に係る顕彰を実施します。

○地域の文化芸術活動を支える人材の育成

地域の文化芸術活動の拠点となる文化施設などと連携し、地域の文化芸術活動を支える人材の育成を支援します。

○文化芸術や郷土芸能を担う人材の育成

文化芸術の振興や郷土芸能の保存・継承のため、関係団体と連携して、今後の活動を担う人材の育成を図ります。

○顕彰の実施

新たな「ちば文化」の創造に向け、文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体の功績をたたえ、表彰します。

⑭文化のネットワークの構築

県民の自主的な文化芸術活動を支援するため、県、市町村、文化芸術団体、NPO、企業、大学等が交流や連携を強化して、「ちば文化」を支える連携のシステムを構築します。

また、観光・産業等の幅広い分野との連携を図りながら、地域文化の振興や文化情報の発信を推進します。

こうした連携体制づくりの契機となるよう、市町村や文化芸術団体などと情報共有し、各地域の状況を収集、提供していきます。

○情報交換・意見交換会の開催

県と市町村のほか、文化施設の指定管理者等も参加して、文化振興施策や県内の文化芸術活動の状況などの情報交換・意見交換会を開催します。

○文化芸術団体、NPO、大学等との連携

文化芸術団体、NPO、大学等と連携し、県ホームページ等の各種広報媒体を通じて、文化芸術団体等の活動を紹介することにより、発表の場と鑑賞機会を提供し、文化芸術活動のネットワークを広げていきます。

○県内の郷土芸能保存団体のネットワーク化の推進と活性化

郷土芸能の保存・継承に取り組んでいる県内各地の団体のネットワークを活性化し、情報交換や方策の検討を行います。

○県内外関係機関等との連携

各文化関係機関等が持つ既存のネットワークによる情報共有を活用するとともに、新たなつながりや既存の枠にとらわれない様々なつながりにより、広く関係機関等との連携を図り、情報交換や総合的な文化振興施策の推進につなげます。

○観光・産業等の幅広い分野との連携

観光・産業等の幅広い分野との連携を図りながら、地域文化の振興や文化情報の発信を推進します。

⑮多様な支援体制の構築

県内では、様々な団体が文化芸術活動を展開しています。こうした団体がそれぞれの分野の魅力を発信し、人材の育成やジャンルを超えた交流を進めていくことにより、県民の文化芸術活動が一層活性化するものと考えられることから、文化芸術団体を支援し、これら団体と共催事業を開催するとともに、広く文化芸術活動の情報を提供することにより、県民が参加しやすい体制整備を図ります。

また、文化芸術活動を支援する企業等と、文化芸術団体等との連携を促進し、資金の提供ばかりでなく、マンパワーの提供や活動場所の確保という手法での支援など、支援をする側にとっても支援を受ける側にとっても有意義となる支援ができるよう、情報交流を図ります。

支援体制については、国が行う日本版アーツカウンシル（文化芸術に関する公的助成機関）の状況や寄附をめぐる制度、住民の意識の動向を見極め、文化芸術活動に対する助成について、より適切で効果的な支援のあり方を検討していきます。

○文化団体に対する支援

文化芸術団体との共催で「千葉・県民芸術祭」を開催したり、県内の文化芸術団体等が行う事業を後援したり、県ホームページ「ちば文化交流ボックス」などを活用し、多くの県民が県内各地で行われる文化芸術活動に参加できるよう支援します。

文化芸術活動に対する助成については、国が行う日本版アーツカウンシルの導入状況や寄附をめぐる制度の動向等を見極め、より適切で効果的な支援のあり方を検討していきます。

○企業メセナ等による支援の促進

県ホームページや公益財団法人千葉県文化振興財団に相談窓口を設置するなど、企業メセナ活動に関する情報や、文化芸術活動に関する国・民間の助成制度に関する情報を周知し、助成制度の活用を図ります。

○文化のネットワークを活用した多様な支援の促進

文化芸術活動を助成する団体と支援を希望する文化芸術団体等との情報交流を図り、有意義な支援ができるよう側面支援を行います。

⑩文化発信拠点としての文化施設等の機能の充実

文化会館、美術館・博物館、図書館等の文化施設が、それぞれの分野における地域の核として「ちば文化」の創造の拠点の役割を果たすため、優れた舞台芸術や展示、普及事業の充実を図るほか、「文化のネットワーク」の拠点として、県民の文化芸術活動や学習活動の支援機能を充実することにより、これら施設の機能の充実を図ります。

特に、県立文化施設では、利用者のニーズや各施設の特性に応じて、専門的知識や情報発信力のある人材を育成し、その能力を最大限に活用して、効果的な事業の実施や多面的な施設運営を行い、もって文化芸術の継承・発展を図ります。

また、公民館や学校等は、地域に根差した文化芸術活動や学習活動の場となっており、地域の特性を活かしながら、地域文化の拠点として活用します。

○文化施設の機能の充実

地域の文化芸術の拠点として、県民のニーズに対応した多様な文化事業や県民参加による事業を行うほか、芸術家や県民、文化芸術団体、市町村の機関等との交流や連携の強化、人材の育成などに努めます。

文化会館での美術作品の展示や美術館・博物館でのミニコンサートなど、施設の多面的な活用も進めます。

本県ゆかりの作家や本県の歴史や自然に関わる展覧会等や海・山・川など地域の自然や文化を活用した体験的活動「フィールドミュージアム」をはじめとした、魅力のある事業を企画・実施し、多くの県民、特に子どもたちが千葉県の文化や歴史・自然にふれる機会を増やします。さらに、県立文化会館・美術館・博物館を拠点として県内外に「ちば文化」を発信します。

県立図書館では、市町村図書館等との連携を強化し、県民の読書・調査・研究活動の支援の充実を図ります。

公民館については、地域の文化活動の核となっていることから、文化施設同様、文化発信拠点として、より広く地域に開かれた事業展開していきます。

○学校の文化施設等の活用

学校の文化施設や地域交流施設等の活用し、文化芸術団体等の活動支援を行うとともに、県立学校が保有する優れた教育機能を地域に開放し、地域活性化を図ります。

<成果指標>

| 目標項目 | 現状 (平成 26 年度) | 目標 (平成 32 年度) |
|----------------------------------|--------------------------------------|------------------|
| 地域との連携等を目的とした意見交換の場を設けている文化会館の割合 | 33.3% | 50.0% |
| 福祉・観光・産業分野等での文化芸術の活用事例 | 福祉・観光・産業分野等での文化芸術の活用事例を収集・公表します。(定性) | |